

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品 ・定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイディアスケッチ ・ワークシート ・授業の様子や発言内容 ・作品

3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 ・主題を考え、1・2年生までに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 ・主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 ・作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 ・鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 ・いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学 期	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美を探し求めて ・夢をかたちにするデザイン <p>○刻まれた祈り（鑑賞）</p> <p>○私だけの篆刻印（工芸・彫刻）</p> <p>期末テスト</p>	<p>3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。</p> <p>仏像の表現の特徴や細部と全体から受ける印象などから、込められた願いや創造的な表現の工夫などを感じ取り、継承されてきた仏像に対する理解や見方を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仏像を鑑賞し感じたことや考えたことなどについて話し合う。 ・時代や種類、作者による特徴などを理解し、それぞれの仏像のよさや美しさ、作者の願い、創造的な表現の工夫などを感じ取り、作品から受ける思いについて意見を述べ合う。（主体的に学習に取り組む態度） <p>篆刻について理解をし、自分らしいデザインを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめて表現方法を考えるとともに、押印した時に分かりやすいよう単純化するデザインの要素など複合的に考える。（思考・判断・表現） ・持ち手の設計から、立体による塊や動きの表現に関心をもち、イメージを追求するための様々な形の工夫を知る。（知識・技能） ・いろいろな方向から見て、立体としての塊や量感、動きを感じながら材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う方法を工夫して制作する。（技能） ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫などを感じ取り、その思いについて話し合う。（主体的に学習に取り組む態度）
2 学 期	<p>○ゲルニカは語る（鑑賞）</p> <p>○空想の世界への誘い（絵画・デザイン）</p> <p>期末テスト</p>	<p>色や色彩、構図や描き方などから、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫を感じ取り、友達の見方なども聞きながら、自分の見方や感じ方を深める。</p> <p>自分の体験、見たことや聞いたことなどから空想を広げて主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の中を深く見つめ、想像力を働かせて空想の世界をイメージながら主題を生み出す。（思考・判断・表現） ・主題を基に、自分の体験や物語などから、新しい世界をイメージし、表現の構想を練る。（思考・判断・表現） ・表現方法を追求し、形や色彩、材料を工夫して表す。（技能） ・友だちの作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫などを感じ取り、話し合う。（主体的に学習に取り組む態度）

<p style="text-align: center;">3 学 期</p>	<p>○私との対話（絵画）</p> 卒業テスト	<p>自分の姿や心の中を見つめて考えたこと、将来の夢などから主題を生み出し、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、創造的に絵や立体で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を見つめ自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて考え、主題を生み出す。(思考・判断・表現) ・主題を基に構図、色彩などを考え、自画像の構想を練る。(思考・判断・表現) ・材料や用具表現方法を工夫して表現する。(技能) ・作品を鑑賞し、作者の思いや意図、表現の工夫をなどについて考えを深める。(主体的に学習に取り組む態度)
--------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------